

とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第7回目）9月18日

【活動内容】『なんの穴？』

土の中に興味を持ったことから、今回はアリの巣穴を見つける活動をしました。戸外に出る前に、アリの巣の写真を「なんの穴かな？」と問いかけながら見せると、園庭に同じような穴を探す姿がありました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

虫かご、虫眼鏡、アリの巣の写真

【子ども達の姿と発見】

- ・アリの巣と言わずに写真を見せると「ありさんの」とわかっているような子もいました。園庭に出ると「ここにいるよ」と花壇の横まで連れて行ってくれ、アリの巣があることを教えてくれる姿がありました。
- ・複数のアリの巣の様子を一緒に観察していると、「おおきいあなと、ちいさいあな」と穴の大きさに違いを感じる姿がありました。
- ・「あなのなか、なにがあるの」と穴の中に興味を持つ姿もありました。

※今回はアリの巣を改めて観察し、アリの巣の中の様子に興味を持つ姿があったため、次回はアリの巣の中を観察できる道具で巣を実際に作っていきたいと思います。

（第8回目）10月9日

【活動内容】『アリの巣の中はどうなっているの？』

子どもたちとアリを探し、アリの巣が作れるキット入れておくとうどうなるか実験することにしました。透明のキットにはあらかじめ砂を入れておくことで、捕まえたアリが巣を作る様子を観察することができます。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

「戸外でアリを捕まえる」、アリの巣キット

【子ども達の姿と発見】

- ・興味を持ってアリを怖がらずに捕まえてきてくれる姿がありました。また捕まえたアリの大きさから違いを感じていました。
- ・キットに入れた止まっているアリを見て、「うごかないね」「しんじったのかな」と心配したり、これからどうなっていくのか楽しみにする姿が見られました。

※今回はアリの巣キットにアリを入れ、観察していく準備をしました。日々観察し変化をみていけるようにし、その中で子どもたちが興味を持ったものを環境に取り入れたいと思います。

